

- ◇作文の入選者：姉崎 信（三重大附小4）・伊藤脩斗（藤水小）・富永 輝（三重大附小4）・望月愛子（豊が丘小6）・上嶋康平（西橋内中1）・村上琢真（三重大附中2）・伊藤 舞（セント中3）・斉木香里（セント中3）・塩崎由佳（セント中3）
- ◇絵画の入選者：大橋尚子（三重大附小4）・下村奈々（南立誠小4）・高松竜馬（三重大附小4）・中瀬真依（三重大附小4）・長浜真由（三重大附小4）・福島あい（南が丘小4）・前田紗希（三重大附小4）

審査委員長による講評の後、受賞者の記念撮影（作文・絵画の順）をして、終了。

■作文の部…竹内令会員（元小学校教諭・小説や紀行・随想の著書あり）

「土清ゆかりのこの旧宅で賞状を手にしたみなさん、本当におめでとうございます。今年の作文コンクールには、初めて中学生が参加してくれました。一段と充実したコンクールになったと私たちはうれしく思っています」との前置きから、「小学4年生への出張講座の苦勞が、いかに理解してもらうように伝えるかであるのに、なんと応募作品には、理解しようとの気持ちが溢れていてとても感動しました」「入賞された皆さんの作品は、文章も素晴らしく、土清さんへの愛情に溢れていました」

朗読されなかった作品の中には、以前八町でおじいさんとお父さんが「ことすが」のお菓子を作っていたとお母さんに聞き『ぼくはことすがのお菓子を食べたかったです。みんなにも食べてもらいたかったです』と書いている伊藤しゅうと君があり、『図書館に行っても、僕にわかるような本が見あたらなかったの、子どもでも土清のことが分かる本を、僕が作ってみたいと思いました』と書いている姉崎信君、4年生での理解を2年後に深めてしっかり土清の仕事の把握出来たと6年生の望月愛子さんを評価。

「中学生の作文には、その理解力に驚かされました」「中学生の作文には、土清さんへの尊敬の念が詰まっています。理解度が増して、愛情が尊敬に高まったのでしょうか」

■絵画の部…谷岡経津子当会顧問（四日市大学教授・日展入賞の洋画家）

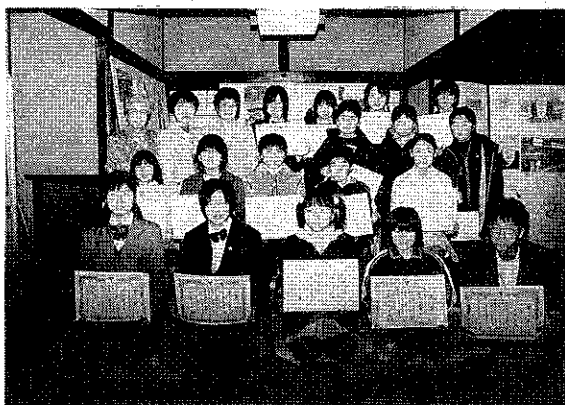
「皆さん、あと4年たつと、谷川土清がここで生まれてから300年になります。今日は寒いですね。土清の生きていた時は、暖房なんて無かったの。ここで、産婦人科のお医者さんをしていたとき、それはようはやったようで、この床が抜けるほどやったということです」という前置きで、各入賞作品の講評に入られたが、和室を空けっぱなしにした会場は、かなり冷え込んでいた。

「大賞と教育長賞は小学生と中学生が伊賀街道沿いの連子格子の目立つこの旧宅を描いた絵でしたが、大賞になった勢力さん（南立誠小6）は、昔の町並みを子どもらしい現代的な視点でアレンジしています。中学生の豊田修平君（西橋内中3年）の作品は、理知的で正確な描写になっている労作です。小学生は小学生らしい素直さと色彩感が抜群です」

「土清像…については、残っている画像を元に自分らしい考えが表されたものになるため、描く人の個性が出ていますね。中学生にはこの作品はありません。津市長賞になった岩崎さん（附属小4）のは、4年生なのに理知的な絵です。その下の特選の方の土清像は、一人が土清の人柄の穏やかさを、もう一人が厳しさを強調して描いています」

「要は、過去の偉人たちを子どもたちがどう見るかということ、現代に生きる子どもたちが、土清を未来につなげてくれるのです。皆さんに期待します」

受賞者記念撮影



（作文の部）



（絵画の部）